

議会報告会 古市会場報告書

担当班： 第2班 班代表者：上田 英樹

概 要			
地区名 : 古市地区 日時 : 令和5年5月24日(水) 19:30~:21:00 場所 : 古市コミュニティ消防センター 参加人数 : 19人(男17人・女2人)	【出席議員】 上田、森本、 園田、原田、 齋藤、堀毛	(1) 開会あいさつ : 上田英樹 (2) 議会報告 : 原田豊彦 (3) 質疑応答 : 各自 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ :	挨拶・総括 : 上田英樹 司会進行 : 森本富夫 報告 : 原田豊彦 記録 : 齋藤泰博 堀毛宏章 会場(マイク) : 園田依子

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
①今田こども園整備については、防災の観点もあり、この事業が実施されたことは承知しているが、議会審議の中で、古市地区から今田保育園に子供を通わせている保護者の声を取り上げられることはあったのか？	今田保育園に子供を通わせている保護者の方に来ていただくよう案内してはどうかとの提案があったと思いますが、その意向が計画に反映されたかどうかについては分かりません。 今回の事業については、防災事情が大きかったと記憶しています。今田に通わせている古市地区保護者の意向も踏まえた将来ビジョンが教育委員会にあるのかどうかまでは分かりませんので、一度確認したいと思います。 →確認したところ、在り方検討委員会の中で「古市地区の方とともに両地域のこととして考えていくのか」について検討され、「古市のことを考えないということではなく、古市地区は古市幼稚園の幼稚園教育をしっかりとしていくこととし、本検討委員会では今田地区でのこども園設置を検討していく」という方向性を示されています。 個人的な回答になりますが、今田こども園の計画については、古市地区保護者の希望などは、なかなか言えなかったと聞いていま

	す。古市の将来を考えると、子育て世代のためのしっかりしたビジョンが必要だと思いますが、古市・今田は一体だと言われると、ちょっと違うのかなと思っています。
--	--

質疑・意見（第二部 担い手不足について）	回答
<p>6、7年前、営農組合を立ち上げたが、次の担い手が課題となっている。議会として、これまで、どのような議論や対策をされてきたのか聞きたい。</p> <p>農業を本格的に初めて3年だが、今の米価では食べていけない。減価償却分を除いても収益は実質ゼロ。また、高価な農機具の買い替えにも苦慮しており、これでは担い手不足の解消などできないと思う。</p> <p>今日もJAの地区別事業説明会があったが、JAの事業所配置などにも問題があるように思う。</p> <p>大規模農家や認定農家の皆さんは一生懸命されているのだが、小さな田んぼについて、放棄地にならないよう、どのように守っていくのが重要だ。議会ではどのような議論や対策が話し合われているのか？</p>	<p>米価については、食料安全保障の点からも考え方を改めて欲しいと思っていますし、農業への支援も大型農家対策だけでは丹波篠山の農業は守れないと、議会から何度も市に伝えています。</p> <p>しかし、個人農家を対象に補助メニューを組むと予算がいくらあっても足りません。そこで、3軒以上の農家で共同利用すれば、農機具購入の20%を補助する制度が令和5年度からスタートします。80%は自己負担になりますが、一歩前進ということでご利用いただきたいと思っています。</p> <p>私も、米だけでは割に合わず、放棄地にならないよう景観維持のために農業をやっていると感じています。収入確保対策の一つとしては、市単独の転作奨励金を増額することも提言したいと思います。ただ、栗を植えても鹿に新芽を食べられるなど獣害対策も大変です。</p> <p>とにかく農機具が高すぎるということと、米を中心とした農業は今後も厳しく。またコストを下げないとどうしようもないと思っています。</p>
	<p>事例紹介をさせていただきます。</p> <p>① 本年10月から新インボイス制度が導入されますが、販売先について、JAは従来どおりですが安価です。少し高く買ってくれる市内米穀業者が、我々免税事業の農家と取引してくれるのか、その対応について心配されている方もおられます。今後、議会でも対応策を協議させていただきたいと思っています。</p> <p>② 福住の安田集落に「カモダニ」と呼ばれる荒地もある2haもの農地がありますが、ここで「まこも」を有機で栽培したいという会社が現れました。10人の地権者の了解を得て、市の支援</p>

	<p>も得ながら賃貸契約が成立し、3年後の有機栽培を目指しておられます。借主が草刈りをする約束なので、今後、草刈り協力隊を結成して支援したいと考えており、放棄地対策の事例となると思います。</p> <p>③ 西紀北地区の川阪の農地は圃場整備が出来ていませんが、今年は都会から3日間で80人の方が田植え体験をされ、楽しんでおられていました。今後の農業の方向性のヒントになると思います。</p>
<p>コミセンの自販機が無くなった。できれば復活して欲しい。</p>	<p>自販機が故障し、部品がないということで撤去されたと聞いています。市に復活するよう要望します。</p> <p>→その後、復活する方向で進んでいると聞いています。</p>
<p>南矢代、古市、草野など駅はあるが、道が狭い、バリアフリーでない、スーパー等の店がないなど、インフラ整備がされていないので、篠山口とは同じようにいかない。(議員質問への回答)</p>	<p>古市地区は駅が多く、篠山口周辺ではミニ開発が発表されるとすぐ反響がありますが、他の駅でも新興住宅開発などの可能性があるのではないのでしょうか。(議員の質問)</p>
<p>古市地区には駅が多くあり、観光客には便利である。祭りは観光客など交流人口を増やすという観点で重要だと思う、コロナで疲弊した祭りの存続について、どのような対応で臨むのがよいのか？</p> <p>古市には義士祭りなど3つの祭りがある。コロナで3年間祭りが出来てない。伝統を守るべきなのか、もう止めてしまうのか。</p> <p>小学生が少なく、特にこども中心の祭りは存続が困難になっている。また、高齢化もさらに進んでいる。よその人に来てもらって続けていくのか、もう続けることが無理なのかと、いろいろと考える。</p> <p>もし、続けるとすれば、祭りを古市地区全体で実施するとか、行政や議会が支援してくれるとかであれば継続できるかもしれないが。</p>	<p>昨日の伝健全国大会の際、河原町で鉾復活巡行を実施しました。3月にも同様のお披露目をしましたが、110年振りということで大きな反響を呼び、通りは人で埋め尽くされました。</p> <p>鉾山は、黒岡と篠山城下町地区の秋祭りですが、担い手が減っています。特にこどもが少なく、必要とされる人員に大きく足りません。しかし、伝統の祭りは、地域の誇りであり、何としてでも続けていきたいですし、祭りがなくなれば、地域は寂しくなり、衰退してしまうと考えています。</p> <p>対策としては、祭りの地域を拡げて参加できるようにしたり、外部からの支援、地域間の協力なども必要だと思います。汗を流し、知恵を絞り、持続可能な祭りにしていきたいと思っています。一緒にやりましょう。</p> <p>お互いが「元気な過疎」を目指しましょう。今日は、古市小学校の校長先生にもお越しいただいています。祭りは小学生の参加がとても大切だということもありましたので、一言お願いします。</p>
<p>現在小学生が94人、幼稚園児が18人。地域の皆さんのおかげですくすくと成長している。小学校では現在、「ふるさとキャリア教育」事業を実施している。これは、こどもたちが、将来の古市地区を担っていけるよう、地域を</p>	<p>地域の未来は、こどもたちの手にあるといっても過言ではありません。こどもの存在はとても大切です。議会も市とともに子育て支援をますます進めていきたいと考えています。</p>

学習フィールドと位置づけ、地域のことをもっと良く知り、地域の人たちとの交流を深めていこうとする事業である。

しかし、古市小学校も児童数が減り続け、数年後には複式学級が出来るかもしれない。今後も地域の皆さんのますますご協力・ご支援で教育向上にまい進していきたい。

古市地区は、阪神間の入口でもっと発展する余地があります。今後とも地域の皆さんとともに、市全域そして古市地区のため邁進していきたいと考えています。